

川西市 中期財政運営プラン

【 令和4(2022)年度～令和8(2026)年度 】

・内閣府「中長期の経済財政に関する試算」(R3.7.21)を参考に、新型コロナウイルス感染症による影響でR3年度は
 税収減となるが、経済回復によりR4年度税収は一部持ちなおし、R5年度には感染拡大前の水準となるものとします。
 ・R4年度以降には新型コロナウイルス感染症による影響を見込んでいません。

目標

かわにし新時代の実現に向けて、持続可能な行財政運営をめざす

1. 収支推計

(百万円)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8
歳入 (A)	36,103	35,718	36,448	36,625	36,568	36,720
歳出 (B)	35,546	35,493	36,738	36,693	36,673	37,095
収支差引 (C) = (A) - (B)	557	225	290	68	105	375

ポイント

金額は一般財源ベースで推計しています。
 原則として、R3年度決算見込み額をベースとして推計しています。
 国の制度改正が予定されているもののうち、推計可能なものは反映しています。
 経済成長による物価変動は歳入・歳出ともに見込んでいません。

2. 目標達成のための取組み

R4～R8合計

総合計画(総合戦略)実現のため必要な一般財源 (D)	200	200	200	200	200	1,000
全事業再検証の効果見込額等 (E)	108	168	168	238	238	920

ポイント

前提:全事業再検証の効果見込額等の範囲内で総合計画(総合戦略)実現のための取組みを実施します。
 全事業再検証の効果見込額のうち、R3年度実施分の額は、パブリックコメント前の案を基に反映しています。今後パブリックコメントや市議会との協議を経て方針を決定しますが、本プランは上記の前提に基づいて策定するため、推計可能な効果見込額を反映しています。
 なお、使用料見直しの効果額については、収支差引に反映していません。

(参考)

使用料見直しの効果額			(60)	(60)	(60)	(60)
------------	--	--	------	------	------	------

持続可能な行財政運営をめざします

R3～R4年度は収支均衡を達成する見込みです。しかし、R5年度以降は、社会保障費、新型コロナ対策後に必要となる経費、及び公共施設老朽化対応経費が増額となるほか、市立病院解体経費など病院再編に伴う一時的な経費及び中学校給食センター維持管理・運営経費も必要となるため、収支不足が発生する見込みです。
 そこで、収支均衡を維持するため、民間活力の活用や、継続的な業務改善・事務の効率化等により、効率的で効果的な行政サービスをさらに推進します。

収支差引 (F) = (C) - (D) + (E)	557	133	322	100	67	337
-------------------------------	-----	-----	-----	-----	----	-----

～ R4 収支均衡を達成

R5～ 収支は不足する見込み

参考 基金残高の推移

未利用地の売却等	2	0	603	1,120	140	146
財政基金 (G)	1,928	2,061	1,742	2,162	2,235	2,044
減債基金	3,531	3,130	3,332	3,536	3,180	2,190
うち将来の償還に備えた積立を除く残高(H)	1,660	1,660	1,660	1,660	1,660	1,660
特定目的基金	1,709	1,659	1,609	1,559	1,509	1,459
基金残高合計	7,168	6,850	6,683	7,257	6,924	5,693

ポイント

未利用地の売却による歳入は、財政基金に積立てます。
 R5～R6年度に病院事業から長期貸付金返還収入を計12億円見込み、減債基金に積立てます。
 R8年度には、財政基金(G)と減債基金(将来の償還に備えた積立を除く残高)(H)あわせて約37億円となる見込みです。

中期財政運営プランにおける収支推計の内訳

収支推計

		(百万円)						
歳入	R2決算	R3決算見込	R4	R5	R6	R7	R8	
市税	19,788	19,350	19,722	19,886	19,855	19,856	19,840	
地方交付税、臨時財政対策債	9,962	11,345	10,819	11,385	11,589	11,531	11,699	
地方譲与税、税交付金等	5,747	5,408	5,177	5,177	5,181	5,181	5,181	
歳入合計(A)	35,497	36,103	35,718	36,448	36,625	36,568	36,720	

歳出	R2決算	R3決算見込	R4	R5	R6	R7	R8
人件費	9,608	9,889	9,796	9,878	10,034	10,115	10,275
扶助費	3,724	4,068	4,271	4,319	4,369	4,421	4,476
公債費	4,942	5,251	5,446	5,657	5,448	5,626	5,706
物件費	4,577	4,726	4,890	4,954	4,953	5,160	5,148
うちコロナ対策に伴う必要経費	0	0	100	100	100	300	300
うちPFI事業に係る経費	307	307	381	485	484	491	483
維持補修費等	202	200	200	200	200	200	200
補助費	5,722	5,616	4,897	5,602	5,434	4,759	4,888
繰出金	4,758	5,120	5,209	5,333	5,460	5,597	5,607
投資的経費	694	676	784	795	795	795	795
うち公共施設老朽化対策経費			100	100	100	100	100
うちPFI事業に係る経費	355	184	192	202	203	203	203
その他経費(積立金等)	396	0	0	0	0	0	0
歳出合計(B)	34,623	35,546	35,493	36,738	36,693	36,673	37,095

収支差引(C) = (A) - (B)	874	557	225	△ 290	△ 68	△ 105	△ 375
---------------------	-----	-----	-----	-------	------	-------	-------

総合計画(総合戦略)実現のため必要な一般財源(D)			200	200	200	200	200
全事業再検証(R元年度実施)の効果額(E)			44	44	44	44	44
全事業再検証(R3年度実施)の効果見込額(F)			10	70	70	140	140
その他行革の効果額(G)			54	54	54	54	54
(参考)使用料見直しの効果額				(60)	(60)	(60)	(60)
収支差引(H) = (C) - (D) + (E) + (F) + (G)	874	557	133	△ 322	△ 100	△ 67	△ 337

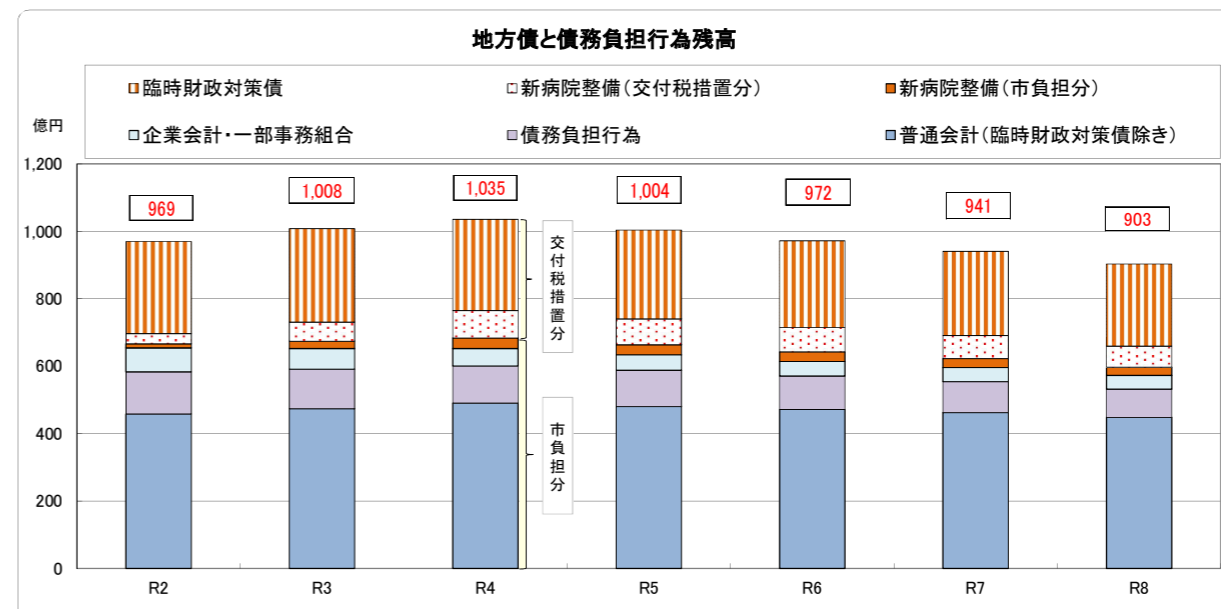
未利用地の売却等による基金への積立

未利用地の売却活用・貸付金の返還	—	2	0	603	1,120	140	146
------------------	---	---	---	-----	-------	-----	-----

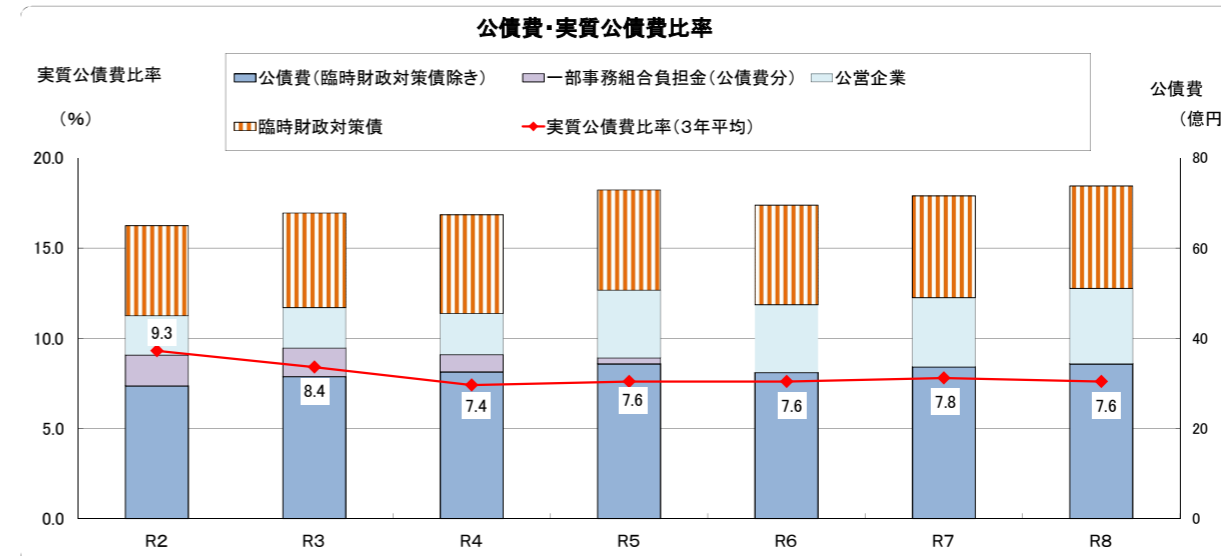
基金残高の推移

基金種別	項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
財政基金	積立額(決算余剰等)	67	559	133	3	520	140	146
	繰入(収支不足補てん)	0	0	0	322	100	67	337
	残高	1,369	1,928	2,061	1,742	2,162	2,235	2,044
減債基金	積立額(決算余剰等)	333	756	0	0	0	0	0
	積立額(病院消費税分)	0	0	0	600	600	0	0
	繰入(公債費充当分)	181	437	401	398	396	356	990
	繰入(収支不足補てん)	0	0	0	0	0	0	0
	残高	3,212	3,531	3,130	3,332	3,536	3,180	2,190
	うち将来の償還に備えた積立を除く残高	904	1,660	1,660	1,660	1,660	1,660	1,660
特定目的基金	積立額(ふるさとづくり寄付金等)	220	147	100	100	100	100	100
	繰入	151	353	150	150	150	150	150
	残高	1,915	1,709	1,659	1,609	1,559	1,509	1,459
基金残高合計		6,496	7,168	6,850	6,683	7,257	6,924	5,693

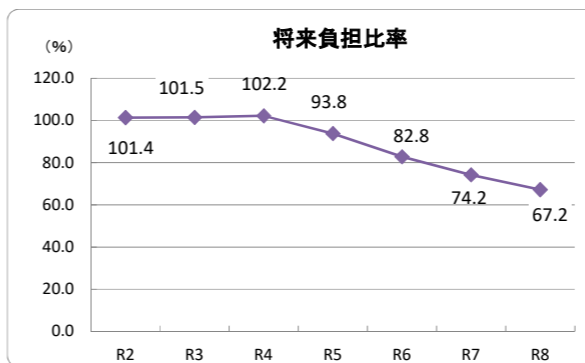
財政指標等の見通し



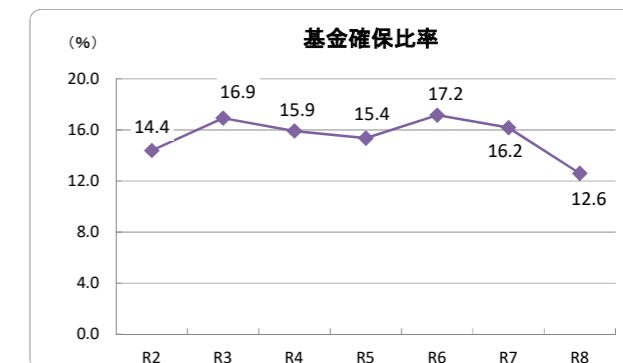
※普通会計分は、一般会計(臨時財政対策債を除く)、用地先行取得事業特別会計及び中央北地区土地区画整理事業特別会計の地方債残高
 ※企業会計は病院事業会計における地方債残高(新病院整備分×1/2(交付税措置分、市負担分))、下水道事業会計における地方債残高(雨水整備にかかるもの)、一部事務組合は猪名川上流広域ごみ処理施設組合における地方債残高(川西市の負担割合分)
 ※債務負担行為の主なもの、土地開発公社の借入金残高と都市整備公社の借入にかかる損失補償額等



※実質公債費比率・・・全会計における地方債の元利償還金や一部事務組合の地方債償還への負担金などを合計した実質的な償還額の標準財政規模に対する比率【早期健全化比率25.0 財政再生基準35.0】



※将来負担比率・・・市において将来負担すべき実質的な債務の標準財政規模に対する比率【早期健全化比率350.0】



※基金確保比率・・・財政基金、減債基金の年度末残高合計額の標準財政規模に対する比率

R4年度までの目標・・・将来負担比率:95%以下、実質公債費比率:10%以下、基金確保比率:10%以上

中期財政運営プランの策定条件

歳入		策定条件	
市税	市民税	個人	<ul style="list-style-type: none"> ・納税者数は、本市の人口ビジョンにおける人口の増減率を反映して見込んでいます。 ・新型コロナウイルス感染症による影響は、内閣府「中長期の経済財政に関する試算(R3.7.21)」を参考に、R3年度に減収するものの、R4年度に一部持ち直し、R5年度には感染拡大前の水準になるものとして見込んでいます。
		法人	<ul style="list-style-type: none"> ・均等割、法人税割ともに、R3年度決算見込み額をもとに、過去1年の動向を参考にし見込んでいます。 ・新型コロナウイルス感染症による影響は、本市における減収が限定的であることから、見込んでいません。
	固定資産税 都市計画税	土地	<ul style="list-style-type: none"> ・R3年7月1日の地価および過去5年間の地価の動向を参考に、今後の市全体における税額はほぼ横ばいになると見込んでいます。 ・新型コロナウイルス感染症に対応した、地価が上昇した土地の評価額を据え置く措置により、R3は減収を見込み、措置がなくなるR4には増収を見込んでいます。
		家屋等	<ul style="list-style-type: none"> ・固定資産税評価額のもとになる建設資材の物価は過去3回の評価替えの動向を参考に、R6年度の評価替えでは既存家屋は減価するものと見込んでいます。 ・大規模家屋については、R4年度以降はキセラ川西内共同住宅等、R5年度以降は東多田の共同住宅、R6年度以降は石道の物流センターの課税を見込んでいます。 ・R3年度に限り、新型コロナウイルス感染症の影響により事業収入が減少した中小企業者等への軽減措置を見込んでいます。(同額を地方特例交付金で補てん)
	軽自動車税		<ul style="list-style-type: none"> ・台数については、過去の伸びを参考にし車両数の増減を見込んでいます。
	市たばこ税		<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度の決算見込み額においては税率変更の影響について見込み、R4年度以降は過去1年の動向を参考にし見込んでいます。
地方交付税 臨時財政 対策債	普通交付税	基準財政需要額	<ul style="list-style-type: none"> ・R4年度以降についても、国の地方財政にかかる方針に基づいて「一般財源総額は確保」となるものとして見込んでいます。 ・医療や子育て、障害福祉サービスなど社会保障費の増加分を見込んでいます。 ・借入済分と未借入(大規模事業)分(※)を反映して見込んでいます。 ※未借入(大規模事業)分…学校施設長寿命化・大規模改修事業、呉服橋本通り線整備事業、御社橋架替事業、中学校給食センター整備事業 ・臨時財政対策債は歳出公債費と同額を計上しています。 ・新病院の開設による病床数増加に伴う需要額の増加をR5年度以降に見込んでいます。 ・新病院建設にかかる公債費のうち、普通交付税措置分を見込んでいます。
		基準財政収入額	<ul style="list-style-type: none"> ・市税、譲与税、交付金の収入見込額を反映して見込んでいます。
	臨時財政対策債		<ul style="list-style-type: none"> ・R4年度はR3年度決算見込み額をもとに、総務省「令和4年度の地方財政の課題」での伸びにより見込み、R5年度以降はR4年度と同額で見込んでいます。
	特別交付税		<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度決算見込み額を基に、病院再編による解体経費の1/2分を反映して見込んでいます。
譲与税 交付金など	譲与税、交付金など		<ul style="list-style-type: none"> ・地方譲与税、その他の交付金については、原則R4年度以降はR3年度決算見込み額と同額で見込んでいます。 ・航空機燃料譲与税については、R3年度までは新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込むものとし、R4年度以降はR元年度と同額で見込んでいます。 ・繰入金(特定目的基金)…R4年度以降ふるさとづくり基金等の特定目的基金から年1億5,000万円繰入するものとして見込んでいます。

歳出		策定条件
人件費		<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度の職員数を基準とし、R4年度以降の職員数は、退職に伴う減員(一部は再任用職員となる)と新規職員採用による増員を見込んでいます。 ・新規職員採用については、年齢構成の平準化を図りながら行うと仮定しています。 ・定期昇給率は年1.5%とし、R4年度までは課長補佐級以上の給与カットの影響を見込んでいます。 ・R5年度以降に定年延長制度導入による影響を見込んでいます。 ・人事院勧告(R3.8月)に伴う期末・勤勉手当引き下げ(△0.15カ月)の影響については見込んでいません。
扶助費	児童福祉費	・R3年度決算見込み額をもとに、R4年度以降は川西北こども園開園による増と児童手当制度見直しによる減を見込んでいます。
	障害福祉費	・R3年度決算見込み額をもとに、毎年4.66%(過去5年伸び率平均)伸びるものとして見込んでいます。
	生活保護費	・R4年度以降は、R3年度決算見込み額と同額を見込んでいます。
	その他扶助費 (就学支援・老人福祉費等)	・R4年度以降は、R3年度決算見込み額と同額を見込んでいます。
公債費	借入済	<ul style="list-style-type: none"> ・借入済の市債の元利償還額については実額を計上しています。 ・借換えを前提に借入れた市債については、予定どおり借換えるものとして元利償還額を見込んでいます。
	未借入(大規模事業)分	<ul style="list-style-type: none"> ・未借入分のうち大規模事業(※)の発行に係る元利償還額を見込んでいます。 ※花屋敷団地建替事業、学校施設長寿命化・大規模改修事業、呉服橋本通り線整備事業、御社橋架替事業、中学校給食センター整備事業 ・利率については、年1.0%と見込んでいます。 ・償還期間については、各事業内容に応じた償還・据置期間を見込んでいます。
	その他事業対応分	・新規発行市債(交付税措置なし)を年10億円借入すると見込むとともに、公共施設老朽化対策分として年3億円(交付税措置なし)の発行を追加するとして、その元利償還金を見込んでいます。
	臨時財政対策債	・普通交付税の基準財政需要額への算入額と同額と見込んでいます。
物件費		<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度決算見込み額をもとに、PFI維持管理経費の増減影響等を考慮して見込んでいます。 ・R4年度以降、新型コロナウイルス感染症対策実施後に必要となる経費(学校タブレットPCの更新経費など)を見込んでいます。
	PFI維持管理経費	<ul style="list-style-type: none"> ・実施済み、または実施予定である事業(※)の施設維持管理分を見込んでいます。 ※市民体育館・運動場、キセラ川西プラザ、キセラ川西せせらぎ公園、学校空調設備、中学校給食センター
維持補修費等		・R3年度決算見込みと同額で推移するものとして見込んでいます。
補助費等	上下水道事業会計	・水道事業会計・下水道事業会計への補助金については、水道・下水道ビジョンに基づき補助額を見込んでいます。
	都市整備公社(中央北地区整備)	・都市整備公社への補助金については、都市整備公社からの金融機関への償還予定額にもとづいて見込んでいます。
	猪名川上流ごみ処理施設組合	・R3年度決算見込み額をもとに、各年度の組合債の償還額の推移を反映して見込んでいます。
	病院事業会計	<ul style="list-style-type: none"> ・病院改革による市の負担額と、現病院に係る公債費等の負担を見込んでいます。 ①現病院に係る公債費及び維持修繕費 ②人材確保対策経費(R4年度まで)、退職金(5年分割 ④退職手当債…約1億6千万円(年3,200万円、R1からR5年度) ③退職手当組合分割納付分…約3億1千万円(年6,100万円、H30からR4年度)、現病院解体費(R3年度からR6年度で17億4,000万円。特別交付税で1/2措置を見込む) ③指定管理料など運営に係る経費 ④新病院建設に係る公債費のうち市負担分
繰出金	国民健康保険事業特別会計	・R3年度決算見込み額をもとに、人口ビジョン75歳未満人口の減少率により見込んでいます。
	後期高齢者医療事業特別会計	<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度決算見込み額をもとに、人口ビジョン75歳以上人口の伸び率により見込んでいます。 ・R4年度以降に後期高齢者医療2割負担導入の影響による減を見込んでいます。
	介護保険事業特別会計	・R3年度決算見込み額をもとに、人口ビジョン75歳以上人口の伸び率により見込んでいます。
投資的経費		<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度決算見込み額を参考に、増減影響等を考慮して見込んでいます。 ・公共施設老朽化対策経費としてR4以降に年1億円を見込んでいます
	PFI割賦払い	<ul style="list-style-type: none"> ・実施済み、または実施予定である事業(※)の建設割賦分を見込んでいます。 ※市民体育館・運動場、キセラ川西プラザ、キセラ川西せせらぎ公園、学校空調設備、中学校給食センター